

ヨドガレージラヴィージュⅢ

オプション

側面シャッター 組立説明書

梱包組合せ表

梱包番号	Lタイプ	Hタイプ
VG4-7101	1	—
VG4-7102	—	1
VG4-7111	1	1
VG4-7121	1	—
VG4-7122	—	1

梱包内容表

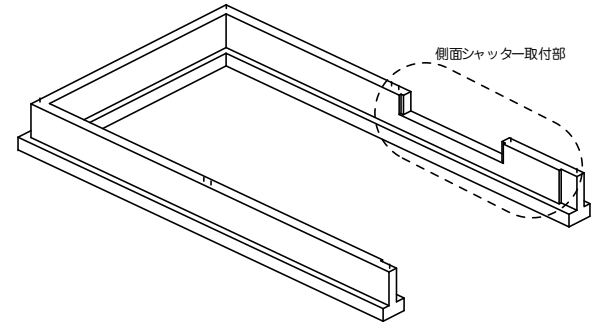
VG4-7101		
VGC 柱 (OS) -A	L	左右各 1
VGC 柱 (OS) -B	L	左右各 1
VGC 柱カバー (OS)	L	左右各 1
VGC 前板 (OS)		1
VGC 柱 (OS) 取付材		左右各 1
VGC 水切り (OS)		左右各 1
VGC 下枠 (OS)		1
VGC 下枠取付金具 A (OS)		1
VGC 下枠取付金具 B (OS)		1
ボルト M8x25		22
ボルト M6x15		25
フランジナット M6		12
VGB ブラケット保護パット		左右各 1
補修スプレー (2725)		1
VGB 補足説明書 A-PO		1
組立説明書 (側面シャッター)		1

VG4-7102		
VGC 柱 (OS) -A	H	左右各 1
VGC 柱 (OS) -B	H	左右各 1
VGC 柱カバー (OS)	H	左右各 1
VGC 前板 (OS)		1
VGC 柱 (OS) 取付材		左右各 1
VGC 水切り (OS)		左右各 1
VGC 下枠 (OS)		1
VGC 下枠取付金具 A (OS)		1
VGC 下枠取付金具 B (OS)		1
ボルト M8x25		22
ボルト M6x15		25
フランジナット M6		12
VGB ブラケット保護パット		左右各 1
補修スプレー (2725)		1
VGB 補足説明書 A-PO		1
組立説明書 (側面シャッター)		1

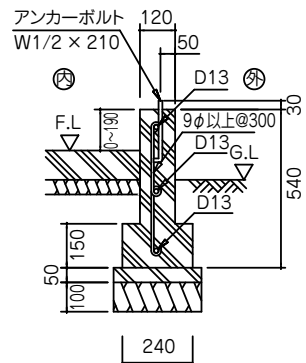
VG4-7121		
シャッターシャフト (OS) L		1
スラット7枚付き		
ガイドレール (OS) L		左右各 1
ブラケット (OS)		左右各 1
フック棒 L=600mm		1
ボルト M6x50		2
ナット M6		2
平座金 (大) 6		2
VG4-7111		
スラットA (OS) ※スラット8枚		1
スラットB (OS) ※スラット6枚		1
スラットC (OS) ※スラット12枚		1
シャッター手掛け		2
シャッター錠 (SK-CC-D-2)		1
アルミ座板 (OS)		1
シャッタースラット差込ガイド		1

VG4-7122		
シャッターシャフト (OS) H		1
スラット7枚付き		
スラット (E) ※スラット4枚		1
ガイドレール (OS) H		左右各 1
ブラケット (OS)		左右各 1
フック棒 L=900mm		1
ボルト M6x50		2
ナット M6		2
平座金 (大) 6		2

基礎図 (側面シャッター取付部)



基礎断面図

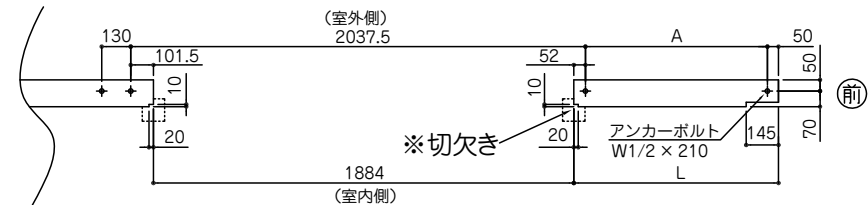


アンカーボルトの止結は、ダブルナット等の戻り止めを施す事。

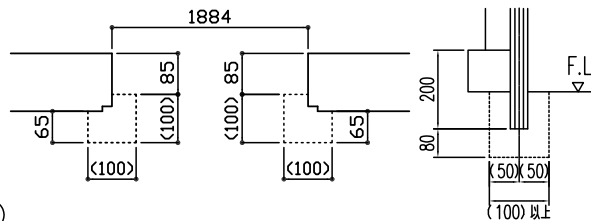
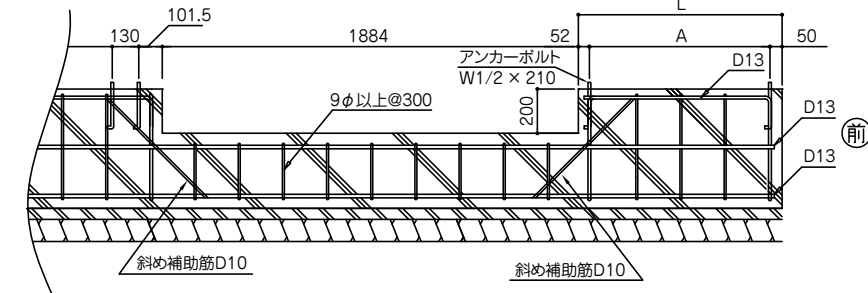
・布基礎断面図
(地耐力50kN/m²以上、コンクリート強度18N/mm²
(以上基準風速 34m/s、地表面粗度区分Ⅱ
<上記条件での参考図です。>)

- 注1) 地耐力が 50kN/m²未満 (30kN/m²以上) の場合、底盤幅を300mmとし、かつ補助筋を入れてください。
注2) 寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計してください。
注3) その他現地の実情にあわせて設計してください。

基礎上面図



基礎側面図



L	A	サイズ
567mm	465mm	奥行き 52 タイプ
917.5mm	815.5mm	奥行き 55 タイプ
917.5mm	815.5mm	奥行き 59 タイプ
1268mm	1166mm	奥行き 62 タイプ

1 水切り、下枠の加工

本体の水切り、下枠を加工します。

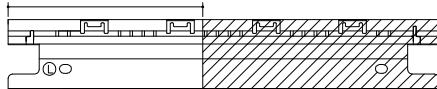
本体の **左側** に取付ける場合

下枠・左

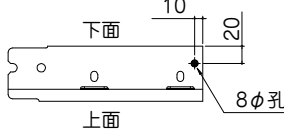
単位：mm

- ①. 切断 所定の長さに切断します。

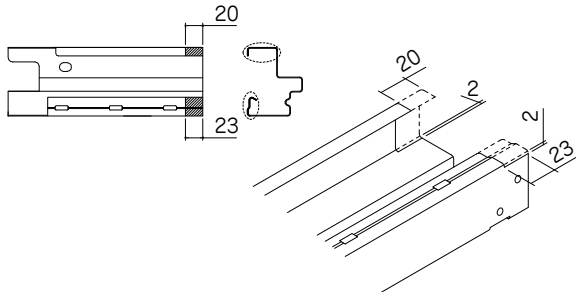
奥行き52 : 419
奥行き55 : 769.5
奥行き59 : 769.5
奥行き62 : 1120



- ②. 孔加工 外面に 8φ の孔を加工します。



- ③. フランジ加工 底面のフランジを加工します。



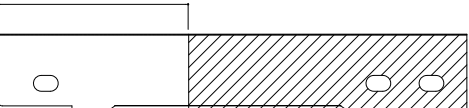
- ④. 加工部補修 加工部を補修スプレー (ガミハ[®]-ジ[®]1/2725色) で補修します。

水切り側・左

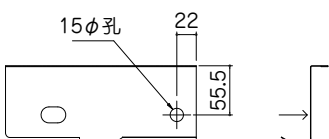
単位：mm

- ①. 切断 所定の長さに切断します。

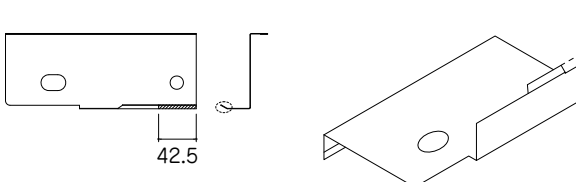
奥行き52 : 541
奥行き55 : 891.5
奥行き59 : 891.5
奥行き62 : 1242



- ②. 孔加工 15φ の孔を加工します。



- ③. フランジ加工 フランジを加工します。



- ④. 加工部補修 加工部を補修スプレー (ガミハ[®]-ジ[®]1/2725色) で補修します。

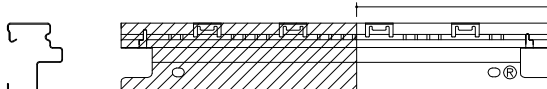
本体の **右側** に取付ける場合

下枠・右

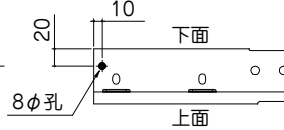
単位：mm

- ①. 切断 所定の長さに切断します。

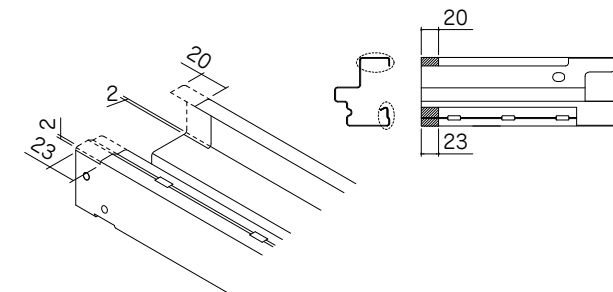
奥行き52 : 419
奥行き55 : 769.5
奥行き59 : 769.5
奥行き62 : 1120



- ②. 孔加工 外面に 8φ の孔を加工します。



- ③. フランジ加工 底面のフランジを加工します。



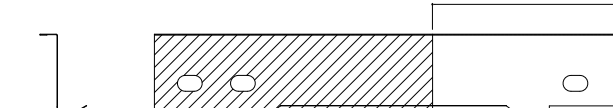
- ④. 加工部補修 加工部を補修スプレー (ガミハ[®]-ジ[®]1/2725色) で補修します。

水切り側・右

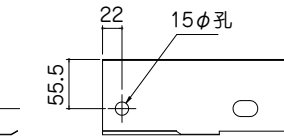
単位：mm

- ①. 切断 所定の長さに切断します。

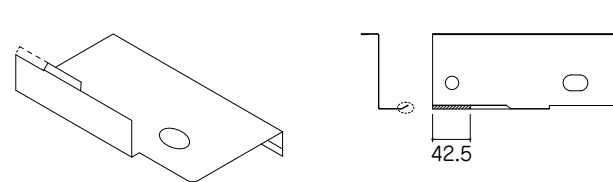
奥行き52 : 541
奥行き55 : 891.5
奥行き59 : 891.5
奥行き62 : 1242



- ②. 孔加工 15φ の孔を加工します。



- ③. フランジ加工 フランジを加工します。



- ④. 加工部補修 加工部を補修スプレー (ガミハ[®]-ジ[®]1/2725色) で補修します。

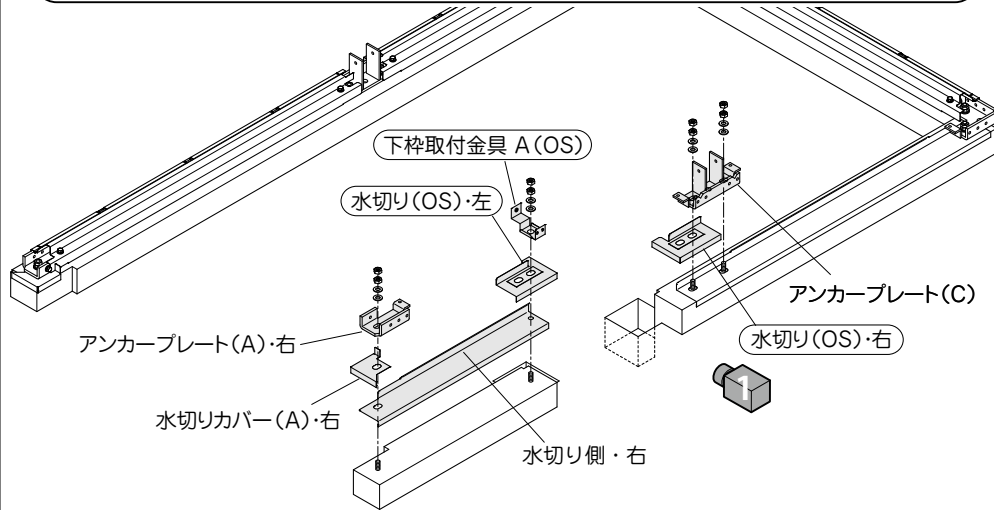
2 水切り、アンカープレートの設置

使用ボルト	③	ウールパッキン、 ワッシャー、 ナット1/2"×2
-------	---	---------------------------------

- ① 加工した本体の水切り、(水切り (OS)) を設置します。
- ② 水切りの重ね部分及びアンカーボルトの根本をコーキングします。
- ③ (下枠取付金具 A (OS))、本体のアンカープレートにアンカーボルトに取付けます。

 注意

コーキングが不十分だと、雨水等が庫内に浸入する恐れがありますので、しっかりと必要箇所に塗布してください。



 ※水切りのシールは必要な孔部を切りアンカーボルトに通してください。

前側

コーキング塗布

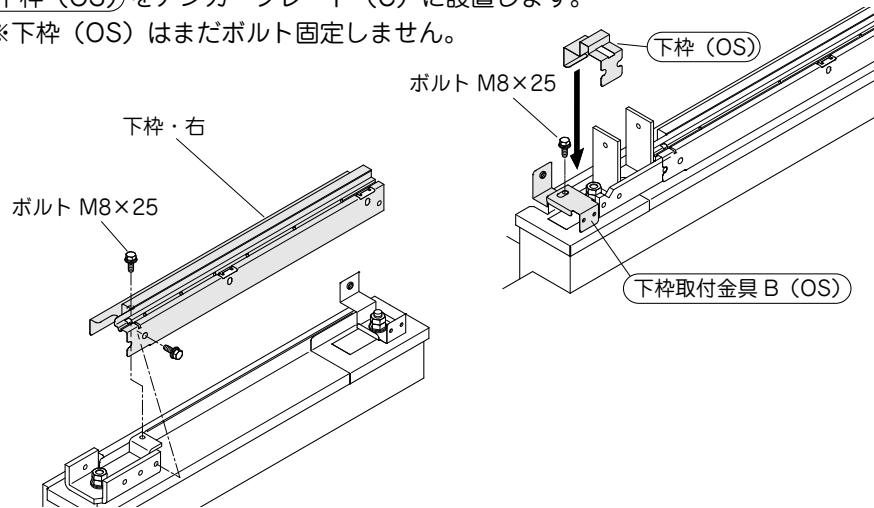
後側

コーキング塗布

3 下枠、下枠カバーの設置

使用ボルト	②	ボルト M8×25
-------	---	-----------

- ① 加工した本体の下枠をアンカープレート、下枠取付金具 A (OS) に取付けます。
 - ② (下枠取付金具 B (OS)) をアンカープレート (C) に取付けます。
 - ③ (下枠 (OS)) をアンカープレート (C) に設置します。
- ※下枠 (OS) はまだボルト固定しません。



4 本体の組立 (間柱の取付けまで)

本体を間柱 (本体組説 工程 ⑨) まで組立ててください。

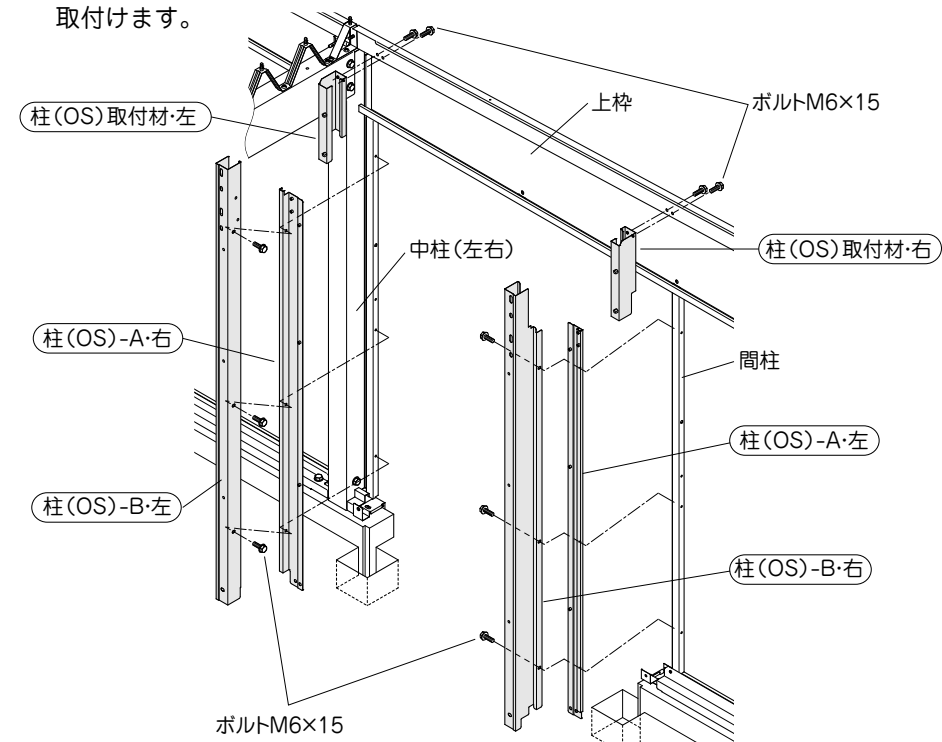
 注意

屋根を取付けると柱 (OS) 取付材が取付けできなくなりますので、必ず屋根を取付ける前に側面シャッターを取付けてください。

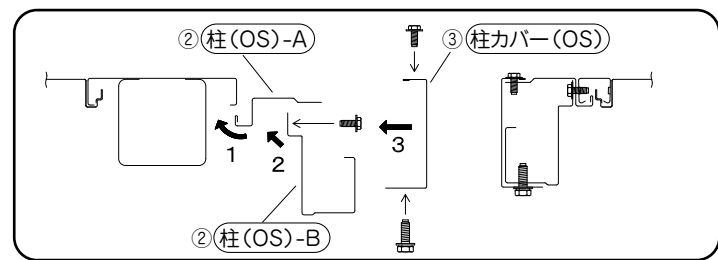
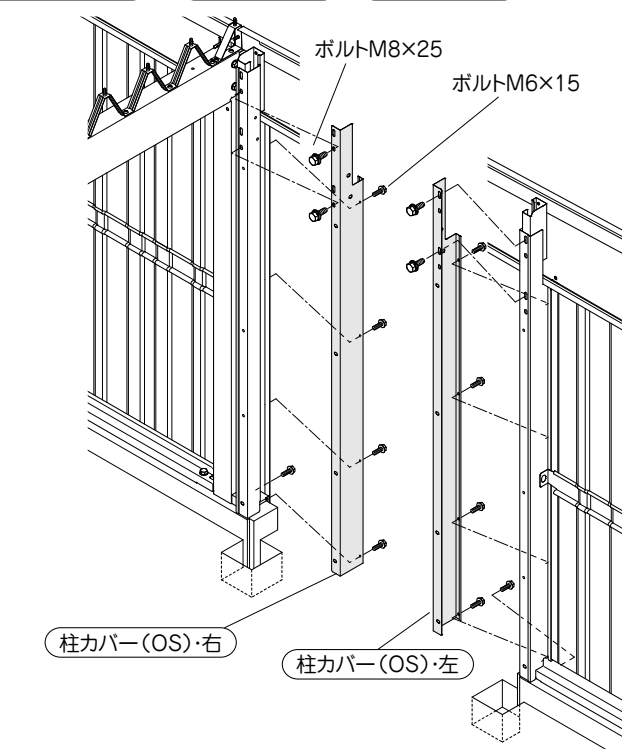
5 柱の取付け

使用ボルト	①②③	ボルト M6×15
	③	ボルト M8×25

- ① (柱 (OS) 取付材) を上枠に取付けます。
- ② (柱 (OS) -A) と (柱 (OS) -B) を合わせて本体の間柱、及び中柱 (左右) に取付けます。



- ③ (柱カバー (OS)) を (柱 (OS) -A)、(柱 (OS) -B) に取付けます。



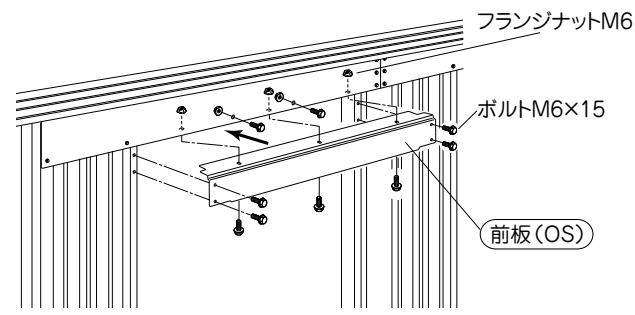
6 本体の組立 (完成)

本体を完成させます。

7 前板の取付け

使用ボルト	①②	ボルト M6×15+フランジナットM6
	①	ボルト M6×15

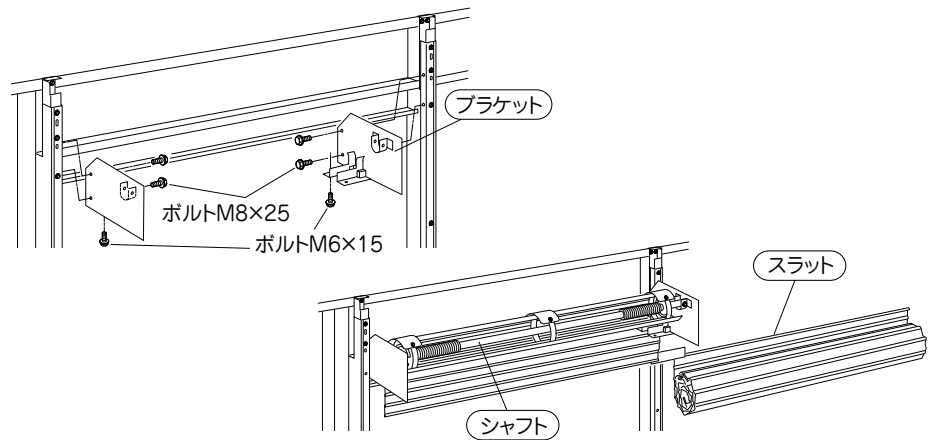
- ① (前板 (OS)) を上枠と柱 (OS) に取付けます。
- ② 本体の上枠の孔 (2 ヶ) にボルト M6×15 とフランジナット M6 を取付けて孔をふさぎます。



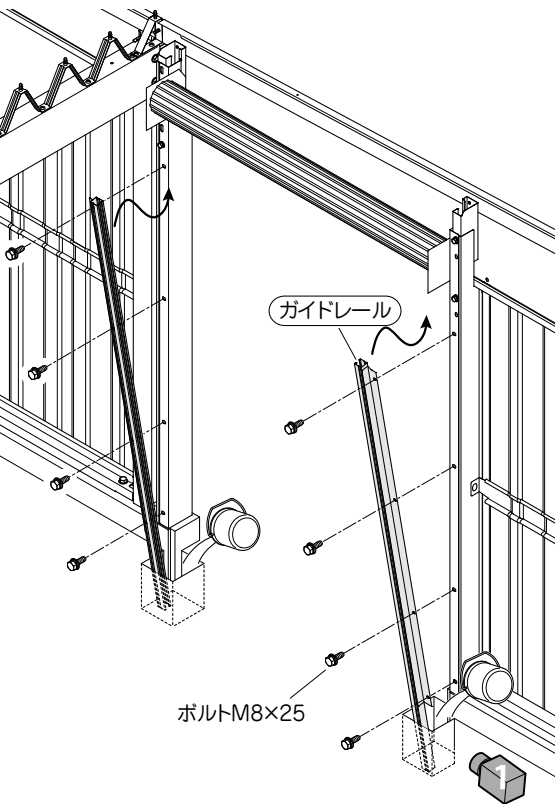
8 シャッターの取付け

使用ボルト	①②	ボルト M8×25
	①	ボルト M6×15

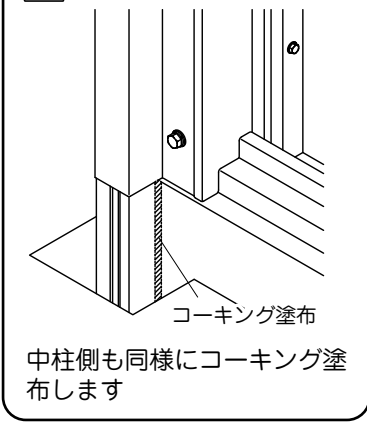
- ① (ブラケット)、(スラット)、(シャフト) を取付けます。
- 取付け方法は本体シャッターと同じですので、本体組説を参照してください。



- ② (ガイドレール) を取付けます。



 ※



中柱側も同様にコーキング塗布します

- ③ 基礎部分にコーキングを塗布します。
レールと基礎の隙間が埋まるように十分に塗布してください。
- ④ ブラケットに保護パットを貼り付けます。
(詳しくはパット同梱の別紙を参照してください。)
- ⑤ 最後に、ボルトのゆるみがないかどうかもう一度確認し、ガイドレール部分にコンクリートを流し込んでください。

この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています